*JCMA 報告*

# CONEXPO-CON/AGG 2014 & IFPE 2014 視察報告

元技師長　鈴木　　勝
標準部　　小倉　公彦

## 1. はじめに

当協会では，2014 年 3 月 3 日（月）から 9 日（日）までの行程で，アメリカ・ラスベガスで開催された CONEXPO-CON/AGG 2014 & IFPE 2014（4・5 日の 2 日間）及びロスアンジェルスの建設現場（7 日の 1 日間）の視察を行った。

以下に，CONEXPO-CON/AGG 2014 & IFPE 2014 の概要について報告する。

なお正式名称は，Construction Exposition - Concrete /Aggregate 2014 and International Exposition for Power Transmission 2014（建設・コンクリート及び砕石機器展示会 2014 及び動力伝達機器国際展示会 2014）である。

また，これよりは CONEXPO-CON/AGG 2014 と IFPE 2014 を区別せず，特別の断りがない限り両者を併せて CONEXPO-CON/AGG 2014（または単に CONEXPO）として扱うこととする。

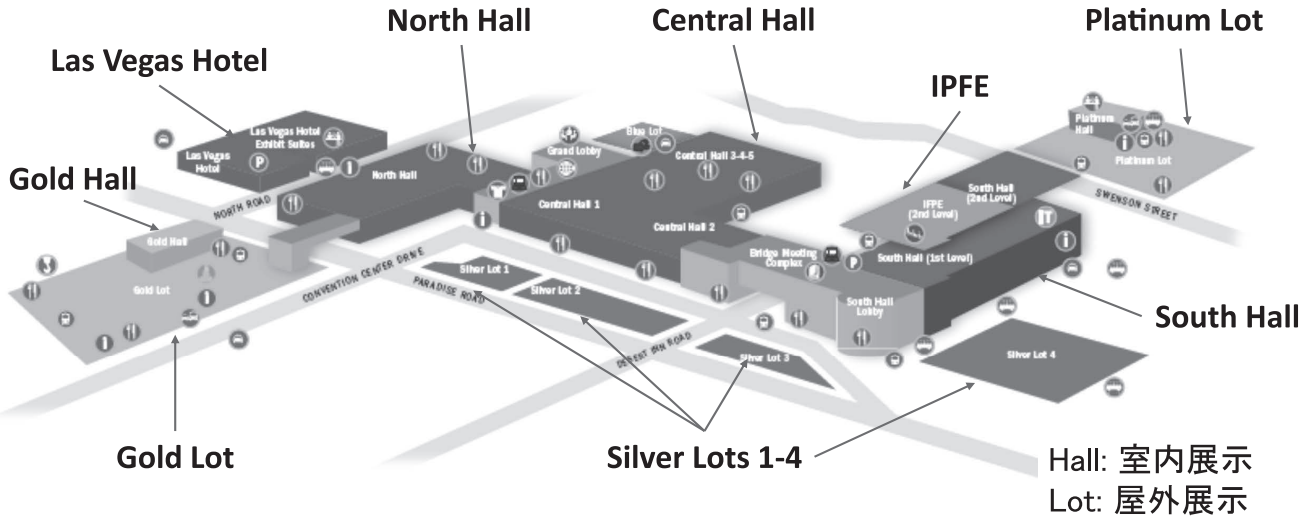
## 2. 展示会概要

以下に CONEXPO-CON/AGG 2014 の概要を示す。

主催者：Association of Equipment Manufacturers（AEM）［(米）機器工業会］
National Fluid Power Association（NFPA）（IFPE 2014 を主催）
開催期間：2014 年 3 月 4 日（火）～ 8 日（土）
開催都市：ネバダ州クラーク郡ラスベガス市
開催会場：ラスベガスコンベンションセンター及び周辺ホテル
会場面積：約 218,000 $m^2$（CONET2003 の約 22 倍）
展示者数：約 170 の国（と地域）から約 2,400 展示者
来場者数：約 130,000 人（入場登録者数）（内訳：建設業（45%），製造業（10%），商社（11%））（約 30,000 人が米国外）
入場料：有料　90 ドル（1 月 18 日以降及び当日申込）／ 60 ドル（～ 1 月 17 日迄申込）
その他：各種セミナーを開催（有料　約 300 ドル）

## 3. 主な展示品

独・仏で開催される他の展示会（BAUMA 及び INTERMAT）と同様，建設機械，建設用車両，プラント，アタッチメント，工具，測量機器，摩耗部品，材料，IT ソリューション等の建設機械に拘らず建設分野全般が展示されていた。




図―1　ラスベガスコンベンションセンター等 展示エリア区分

**図―1**に会場の展示エリア区分を示す。

なお，それぞれの展示エリアには，テーマ等が明確に設定されていないように見受けられた（展示を見るとなんとなく区分されているようではあった）。従って，来場者は個々人でコード又は会社名で特定（スマホアプリあり）してアプローチする必要がある（同一会社で複数箇所の展示の場合あり）。

## 4. 会場の様子

お膝元のキャタピラー，ジョンディアといった米国企業が広い面積で展示を行っているのは当然として，コマツもそれに負けじと広い面積で展示を行っていた。

また，情報化施工については，建設機械メーカでは最早当然の技術として扱っているのか，測量機器メーカの方が積極的な展示が目立った。

屋外では，屋内で展示できないようなクレーン，基礎工事用機械及び移動式プラントが所狭しと展示されていた。

さらに，このような展示会では，日本においてはビジネスマンの来場が殆どとなるところであるが，老若男女の来場が多くみられた（旅行代理店の現地スタッフの意見では「国民性の違い」とのこと）。

以下に展示エリアごとの内容を示すが，グラビアページも参照されたい。

### (1) Las Vegas Hotel

ラスベガスコンベンションセンターに隣接するラスベガスホテル（LVH，旧ヒルトンホテル，**写真―1**）では，当日受付及び事前登録済入場者へのランヤード（名札を首から提げる為のストラップ）配布を行っており，大小約40の会議室・パビリオンではCONEXPOに関連する会議が多数行われていた。

写真―1　North Road 沿いに聳え立つ Las Vegas Hotel 看板

### (2) North Hall

入口から最も近い室内展示場であり，大手メーカの土工機械・運搬機械・道路機械等が最初に目に飛び込んでくるように配置されていた。米国［キャタピラー（**写真―2**），ケース，ジョンディア］と並んで，欧州［ボルボ］，日本［コマツ，日立建機］，韓国［ヒュンダイ］が大きな面積を占めており，また，日本ではあまり馴染みがないが，米国マニトウグループ［Manitou, Gehl, Mustang］も多くの製品を展示していた。

North Hall と Central Hall の間には Grand Lobby（吹き抜け空間，**写真―3**）があり，軽食コーナーやイベントグッズの販売ブースが盛況であった。

写真―2　North Hall 室内展示場

写真―3　Grand Lobby

### (3) Central Hall 1, 2, 3, 4, 5

最大面積の室内展示場であり，土工機械・道路機械・鉱山機械及びそのアタッチメント・ツール，測量機器等

が展示されていた。米国［Astec, Gomaco, McLanahan］，欧州［アトラスコプコ，ダイナパック，サンドヴィック，ボーマク，ヴィルトゲングループ（**写真―4**）］日本［クボタ，KCM，酒井重工業，竹内製作所，トプコン・ソキア］等，大型機械は勿論，中・小型機械でも，自社製品の全ラインナップを前後左右等間隔に並べてブースを埋め尽くすなど，各メーカが工夫を凝らし存在感を競い合っていた。

また，Central Hall と South Hall を結ぶ連絡橋からは Silver Lots 屋外展示場（**写真―5**）が見渡せる。同連絡通路の間には，沢山の会議室が並び（Bridge Meeting Complex），AEM 事務局の詰所（**写真―6**）が置かれると共に，此処でも CONEXPO に関連する会議が多数行われていた。

### (4) South Hall

コンクリート機械（トラックミキサ，打設ブーム付きポンプ車）・道路維持用機械・トラッククレーン等が展示されていた。車台サイズの制約が緩やかな北米市場向け故か，米国［Mack, Vermeer］，欧州［プッツマイスター，シュヴィング（**写真―7**）］製の大型トラック搭載型機器ばかり目立ったが，唯一日本製［ヤマハ］ROV（娯楽用不整地走行車両，**写真―8**）が展示されていた。

写真―4　Central Hall HAMM（ヴィルトゲングループ）ローラ群

写真―5　Silver Lots 屋外展示場

写真―6　AEM 事務局詰所（Trade Center）入口

写真―7　シュヴィング ブーム付きコンクリートポンプ車

写真―8　ヤマハ 3 人乗り ROV

（5）IPFE

South Hall の 2 階に IPFE 展示場があり，建設機械の動力伝達を担う油圧機器に関する展示が行われていた。

（6）Gold Lot & Gold Hall

North Road に面した屋外展示場であり，超大型クレーンや高所作業車の他，各種土工機械及び特装車，自走式破砕機，不整地運搬車等が展示されていた。米国［ボブキャット，キャタピラー，Gradall，JLG，Terex］，欧州［ボルボ，JCB，リープヘル］，日本［タダノ，ヤンマー，諸岡］，韓国［Doosan］等（**写真―9**）。

写真―9　Gold Lot 屋外展示場

敷地内に設けられたカマボコ型テント（Gold Hall）内では，解体用アタッチメント，不整地用運搬車，超々湿地用足回り装置等が展示されていた（**写真―10**）。

Gold Lot の一角では英国 JCB による実演ショーが約 1 時間毎に開催され，小型建機（バックホウローダ，スキッドステアローダ，テレハンドラ）数台がライブ演奏に合わせて屋外ステージを駆け回り，作業装置を動かすデモンストレーションを行っていた（**写真―11**）。

写真―10　Gold Hall 室内展示場 Terramac 不整地運搬車

写真―11　JCB デモンストレーション

また，別の一角では米国キャタピラーによる実演ショーが行われ，装輪式マテリアルハンドラのクラムシェルバケット先端でバスケットボールを掴み，屋外ステージのゴールに見事シュートできるかチャレンジしていた（**写真―12**）。

写真―12　CAT バスケットボールチャレンジ

さらに別の一角では独国リープヘルによるイベントが行われ，力自慢の参加者が 500kN-m のトルクで基礎工事用機械のドリルを回転させる事ができるかチャレンジしていた（**写真―13**）。

（7）Silver Lot 1, 2, 3, 4

Paradise Road に面した屋外展示場であり，モノレールの軌道や隣接するホテル・ビル群をも凌ぐ高さがあるロングアーム解体機，超大型クレーン，コンクリート打設ブーム等の他，可搬式・自走式の各種大型機械が展示されていた。米国［Bell, Pettibone ］，欧州

写真―13　リープヘル トルクチャレンジ（部分拡大）

写真―14　Silver Lot 屋外展示場 Sany クローラクレーン

写真―15　MB Crusher デモンストレーション

［Merlo, Wacker Neuson］，日本［コベルコ，前田製作所］，中国［Sany（**写真―14**），Zoomlion］等。

Silver Lot の一角では，MB Crusher による実演ショーが行われ，骨材を投入しては破砕するデモンストレーションを繰り返し行っていた（**写真―15**）。

### （8）Platinum Lot

ラスベガスコンベンションセンターの最も奥に位置する屋外展示場であり，基礎工事機械などが展示されていた模様。米国［McCloskey］，欧州［サンドヴィック］等。

## 5. おわりに

2 日間では駆け足での視察とならざるを得ず，展示すべてを詳細に見て協会活動に結びつけようとすれば，さらに 2 日間が必要であると感じたところである。

視察団が宿泊したザ・クワッド（旧インペリアルパレスホテル）は，ストリップと呼ばれるラスベガス市街のほぼ中心に位置し，モノレール Harrah's-The Quad 駅につながっており，CONEXPO-CON/AGG 2014 会場へのアクセスは非常に良いが，ラスベガスの超高級ホテル群においては相対的にリーズナブルな価格設定のせいか，最小限のサービスであった。

日中，約 5 分間隔で運行されるモノレールは，カラフルな「ラスベガス模様」の他に CAT®ロゴ入りのラッピングが施された車両もあった（**写真―16**）。ザ・クワッドの目の前には高さ 167 m（完成時点で世界一）の大観覧車「ラスベガス・ハイ・ローラー（**写真―**

17)」が立ち，3 月 31 日の営業開始を控えていた。

次回の視察として，仏国パリで開催される，“Intermat 2015”（平成 27 年 4 月 20 日（月）～ 25 日（土））が予定されている。

写真― 16　ザ・クワッド隣の Flamingo-Caesars Palace 駅を行き交うモノレール

写真― 17　ホテル前の大観覧車 ラスベガス・ハイ・ローラー

JCMA